青い海と森の音楽祭

10月31日開幕

音が 再び街をつなぐ

昨年、多くの県民に感動をよんだ「青い海と森の音楽祭」がスケールアップして帰ってくる。今秋10月31日開幕、11月８日のオーケストラコンサートでフィナーレを迎える全９日間の日程で、今年もアウトリーチ（出前演奏会）で県内各地を巡る。芸術総監督の指揮者・沖澤のどかさん（青森出身）、音楽主幹のソプラノ歌手・隠岐彩夏さん（五所川原出身）が、昨年にも増して県民にクラシック音楽の楽しさを伝えようと張り切っている。

大成功に終わった2025年の「青い海と森の音楽祭」

青い海と森の音楽祭のオーケストラコンサートで歌声を披露する隠岐彩夏さん

みんなで100歳まで育てたい　隠岐彩夏さん

新年おめでとうございます。２０２５年はどんな1年でしたでしょうか。

昨年夏、第1回「青い海と森の音楽祭」が開幕しました。たくさんの方々の熱い思いと力が結集し、ついに実現できました。

あの日いただいた応援、差し伸べていただいた手、あたたかい言葉の全てが私たちの力となり、音楽となって会場を満たしました。期間中に出会えた満面の笑みや、確かに心が通じ合った瞬間の喜びは、今も忘れることができません。

受け取った感動や学びを次の誰かへ手渡していく―。文化・芸術の持つ「恩送り」の力が世代や地域を超え、希望ある未来をつくると信じています。

産声をあげたばかりの音楽祭ですが、みんなの手で１００歳くらいまで育てていけたらと願っています！特に、子どもたちが音楽やものづくりに触れ、未来を想像するきっかけとなればうれしいです。

次回は紅葉の美しい秋の開催です。街で、会場で、お会いできることを心から楽しみにしています。

勢いそのまま盛り上げたい　沖澤のどかさん

青い海と森の音楽祭のオーケストラコンサートで指揮する沖澤のどかさん

昨年の「青い海と森の音楽祭」では、予想以上の深い繋がりができたと感じています。基本的には第1回の内容をそのまま踏襲しますが、期間が２日増え計９日間の開催となります。

第２回に限らず、今後も継続的に続けていきたいアウトリーチ（出前演奏会）は、県内に行きたい場所がありすぎて、選ぶのにちょっと苦労しています。

また、室内楽コンサートは私自身久しぶりにお客さんとして聞きましたが「この水準、このプログラムを青森で聞けるなんて」と心底うれしく思いました。県内には良いホールがたくさんあるため、アウトリーチに限らず、室内楽においても昨年とは違った素敵なホールで届けたいと考えています。

「０歳からのファミリーコンサート」と「オーケストラコンサート」に参加してくださった「アオモリ・フェスティバル・オーケストラ（ＡＦＯ）」のほとんどの方々がまた出演したいと言ってくれています。第1回の勢いをそのままに、第２回も盛り上げていきたいです。

アウトリーチ 今年は公募も

「青い海と森の音楽祭」の最大の特徴は、演奏家たちが県内各地の学校や介護・福祉施設、公共施設などに出向いて交流するアウトリーチ（出前演奏会）だ。昨年は1週間の音楽祭期間中、６カ所で生演奏を披露した。目と鼻の先で演奏を身近に体感したり演奏家と会話したりして、日頃コンサート会場に足を運びにくい観客たちが、音楽の醍醐味を全身で満喫した。

貴重な体験を多くの県民に味わってほしいと、沖澤のどかさんら演奏家たちの要望で今年も手厚い演奏会を計画している。

アウトリーチは10月31日から11月2日まで6回程度を予定し、会場を公募する。対象は県内の小、中、高、特別支援学校、高齢者施設、障がい者支援施設、児童福祉施設などで、音楽祭当日や事前取材に協力してもらえる団体であること。費用は不要だが会場の設営（ピアノの調律や観覧のための机、いすなどの移動）を自前で行うこと（ピアノのない施設は相談に応じる）。

音楽祭公式ホームページ内の所定の申込書に記入の上、郵送かメール、ファクスで申し込む。問い合わせは青い海と森の音楽祭事務局（東奥日報社事業局、郵便番号０３０―０８０１、青森市新町２の２の11、電話０１７・７１８・１１３５、ファクス０１７・７１８・１１３２、メールjigyou@toonippo.co.jp）へ。

このほか、3～5日は青森市の東奥日報新町ビルなどで各種公演、6日は弘前市民会館、7、8日はリンクステーションホール青森でオーケストラコンサートなどを行う。

東奥日報社などでつくる実行委員会は「青い海と森の音楽祭」の盛り上がりを応援する個人サポーターを今年も募集する。受付開始は今春の予定。

前回は音楽祭チケット販売の先行案内、オリジナルグッズの進呈、特別イベントへの優先招待など各種特典をもうけ、300人が登録した。今年も各種特典をつけるとともに、音楽を愛し音楽祭を後方支援してくれるサポーターを募る。

問い合わせは東奥日報社事業局企画事業部（電話017・718・1135）へ。

マルチアングル動画公開

視聴者が主役となる新しい映像配信サービス「yourLIVE」。従来は複数のカメラ映像の中から制作側が画像を選び、視聴者に届けていたが「yourLIVE」は、全てのカメラ映像を視聴者に提供する。視聴者自身が見たい映像を自由に選択し、同じ被写体でも異なるアングルから視聴することができる。

JVCケンウッド（横浜市）が昨年、音楽映像配信分野で実績のある「インターネットイニシアティブ（IIJ）」の協力で、同社の動画配信プラットフォーム「IIJ　Media Sphere サービス」を活用し、「青い海と森の音楽祭」のアウトリーチ（出前演奏会）と、リンクステーションホール青森で行われた「０歳からのファミリーコンサート」をマルチアングル撮影した。行く先々で大歓迎を受けたアウトリーチの様子、演奏者と観客が一体となったフレンドリーなコンサート会場の盛り上がりを、臨場感を味わいながら楽しめる。

動画は１月１日から音楽祭公式ホームページで特別公開される。アドレスはhttps://aoiumimori.jp/

「青い海と森の音楽祭」公式ホームページで公開しているマルチアングル動画の画面

県内外のトップの声　20、21面

脳を守り健やかな長寿へ

青森新都市病院
医療法人雄心会
総長　片山　容一氏

本年、当院は開院から10年目を迎えます。地域の皆さまの変わらぬお力添えのおかげと深く感謝しています。心から御礼申し上げます。

健康であるためには、健全な脳の働きが必要です。当院は、皆さまの脳を守ることによって、健やかな長寿を支えたいと考えてきました。そのため、脳疾患の診療に重点を置き、優れた技術と経験を持つスタッフをそろえ、最先端の設備と機器をととのえています。また、青森大学と連携して「脳と健康科学研究センター」を併設し、脳からの長寿社会づくりを目指して研究を進めています。

当院は脳疾患だけでなく、さまざまな疾患の診療にも全力で取り組んでいます。1㍉以下の精度で「がん」に放射線を照射する最新の高精度放射線治療システム「ノバリス」が設置されており、いろいろな部位の「がん」の治療に大活躍しています。

当院は、地域の皆さまにとって、信頼できる病院であるだけでなく、「安心できる病院」でもありたいと念願してきました。本年も、そのための努力と工夫を惜しまないつもりです。

医療法人雄心会　青森新都市病院
▷2017年5月開院
▷脳神経外科・形成外科・整形外科・消化器外科・乳腺外科・甲状腺外科・外科・消化器内科・循環器内科・脳神経内科・内科・泌尿器科・リハビリテーション科・放射線腫瘍科・放射線科・歯科口腔外科
▷青森市石江3-1
☎017-757-8750
ウェブサイト▶

成功体験で自信つく教育

学校法人 青森山田学園
理事長　澁谷　泰秀氏

昨年の県高校総合体育大会で青森山田高校は男女とも総合優勝を果たすことができました。文武両道を掲げておりますが、スポーツでの活躍は生徒たちに「自分たちはできる」という自信をもたらします。学校全体に良い雰囲気が広がり、教育にも好影響を与えています。

青森大学は２０２６年度からソフトウェア情報学部の入学定員を70人から90人に増やします。新設する「インターフェースコース」では生成ＡＩ（人工知能）などを活用し、これまで解決できなかった社会課題に取り組む人材を育成します。

大学では高度な研究も推進しており、瀬谷司薬学部特任教授の免疫増強剤の研究は、日本医療研究開発機構（ＡＭＥＤ）の研究開発事業に採択され、海外の研究機関からも注目されています。学生たちは瀬谷先生の講義を受け、高いレベルの創薬研究に触れています。

大学の使命として地方の振興に資する人材、特に青森県を盛り上げる人材を育てたいと思っています。そのためにも学生には成功体験が必要です。社会に認められることがモチベーションとなり、さらなる成功につながります。成功体験を積み重ねて自信を持たせ、社会に送り出します。

学校法人　青森山田学園
▷1918年、山田裁縫教授所として設立
▷青森大学、青森山田高校、青森山田中学校の運営
▷青森市幸畑2-3-1
☎017-728-8001
ウェブサイト▶

新春トップインタビュー　二〇二六年

人口減少や高齢化など地域特有の課題を抱える本県。さまざまな分野から青森を支える19企業・団体のトップに、新年の抱負や今後の展望を聞いた。

（企画・制作　東奥日報社ビジネス局）